



414  
A 837  
I

乙秘第三四號

八月八日

左記一項ハ事實眞偽ハ難保候得共時節極偵聞ノ供由卷  
及ハ報候也



本月二日露国外務大臣ヨリ  
本邦駐劄現仕露公使ニ訓示

清国ニ於ケル我カ外交事項ハ漸次顛倒英國ハ清国ニ事實  
上次第ニ優勢ヲ占來ルノ傾向アリ就テハ將來列國ノ絶東ニ  
於ケル勢力上權衡ヲ失スルノ恐レアリ我カ露國ハ獨佛ニ  
因ト共ニ清国諸般ノ事業ヲ平分スルカ然ラハ断然  
英國ノ勢力ヲ威殺スルニ勉メカハベカラズ以上ニ依リ新任  
公使ハ急速北京ニ赴任セシムルノ順序ニシテ右ニ関スル運  
動ハ今後大ニ日本ノ外交上ニ影響スルモノナレハ日本國  
内部ノ外交方針ハ周密注意ノ上北京公使館ニ通牒便  
宜ヲ與フベシ尤モ矢野公使清浦左大臣等清国今後ノ経  
緯ニ付抱負ヲ懷ケル輩ニハ必ラハ胸襟ヲ披キテ我カ外交上

大日本帝國政府

書牒點置西山志齋

ノ意見ヲ述フルト同時ニ日本内地ノ状況ハ其ノ真相ニ探  
知シ報告シ忘ラハルヲ要ス  
右訓示到達セルモ當時ローレン公使不在中ナルヨリ留守  
書記官代ニ手配中ナリ